



秋晴れの中、大浅間火煙太鼓子供太鼓クラブの演奏とともに開会式



エコ・エネ体験



アルクマとジャンケン大会！
(環境フェア in こもろ)

『小諸もろもろ塾』

小諸もろもろ塾の中で、恒例となっているエコ・エネ体験を取材しました。小諸市は、日照時間が長いそうのでソーラー発電に有利です。

★丸い大きな反射板の中心にやかんをセットして、ソーラーの反射熱でお湯が沸く装置。

★小さなソーラーパネルにつないでエレキギターのアンプに利用できる装置。

★水道の水程度で、小さな水車を回し自転車の発電機の働きで電球が光っている装置。

★発電機の付いた自転車の車輪を設置し、子ども達が手で回すと、おもちゃの電車が動き出す装置。

これらはどれもおもちゃの様な物ですが、エコ・エネ体験ができました。太陽熱・水力・風力等の自然エネルギーは装置が傷むまで、無尽蔵に発電でき、エコにつながります。

昨今の飯田市のメガソーラーが地域住民の反対にあったのは、余りにも業者が利益追求に走り過ぎ、きちんと災害対策ができていなかった点です。決してソーラー発電がいけない訳ではありません。今後もエコ・エネ体験をうまく利用していきたいものです。

編集委員 土屋 薫



『ホール発表 1日目』

ホール発表初日のオープニングは、「楽団ひとり」によるトランペット演奏「ロッキーマスター」でした。男女の二重奏で開演にふさわしい軽快で勇壮な曲は心地良い音色でした。

影アナの出演者、演目の紹介があり、舞台は進行していききました。舞踊、フラダンス、フォークダンス、詩吟、大正琴、マジック、民謡、銭太鼓、ギター演奏、キッズ・ジュニアのダンス、オカリナ演奏と様々なジャンルのステージでした。

開会式が行われたロータリーの寒い屋外とは違い、ホール内は暖かく、出演者の日頃の練習の成果と、演目をより生かす照明の演出でゆったりと楽しめました。初日最後は、オカリナ演奏で「いい日旅立ち」。素朴なほのほのした音の響きで終了し、気分良くホールを出ました。

編集委員 小山 誠治



『環境フェア in こもろ』

昨年に引き続き、公民館まつりと併催。「体験と学び」をテーマに、体験型イベントを通じて、子どもたちの身近なエコ活動のきっかけづくりが目的です。豊かな環境づくり佐久地域会議、佐久地域振興局が中心となり、「オリジナルエコバッグづくり」「燃料電池ミニカーの工作教室」「ゴミ減量アドバイス」など様々なコーナーが盛り沢山でした。

中でも人気だったのが、エコバッグづくり。バッグに好きな絵を描き、アイロンで定着させれば、世界に一つだけのエコバッグのできあがり！

子どもたちだけでなく、お母さんお父さんたちも楽しんでいたのが印象的でした。身近な環境やエコ、ゴミについて考える良い機会となりました。

編集委員 中島 正和

